

ニュース 玉手箱



元気に過ごしてね! 園児が手作り年賀状作る

町 内3保育園の園児が、町内の73歳以上の一人暮らし高齢者に手作りの年賀状を送りました。これは、町交通安全推進協議会が、高齢者の交通安全と健康を呼びかけるため各保育園に協力いただき毎年実施しているものです。

このうち、ふたば横山保育園では、12月22日(水)に園児21人が2022年の干支の「寅」にちなんで、黄色に黒斑のとら柄の年賀状や、とらの似顔絵を描いた年賀状を作成しました。年賀状には、「交通事故にあわずに元気で明るく過ごせますように」という園児のメッセージが込められています。

町民みんなが気を付けて大石田町から交通事故をなくしましょう。



サンタさんから素敵なプレゼント

ク リスマスイブの12月24日(金)に福祉ボランティア「いこいの会」(小玉勇会長)のメンバーによる一人暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布が行われました。会では、一人暮らしの方にもクリスマス気分を味わってもらおうと、毎年この時期に手作りの贈り物をしており、今年はやまがた緑環境税の交付金を活用して県産のスギ材で小物入れを手作りし、お菓子とともに配りました。

メンバーはサンタクロース姿に扮して、町内のおよそ50軒をまわり「お変わりないですか?」などと声をかけながらプレゼントを手渡しました。受け取った方は顔をほころばせて「今年もありがとうございます。大切に使います。」と手作りの贈り物を喜んでいました。



サンタさんが園児にお菓子をプレゼント!

商 工会青年部(芦野雅俊部長)による保育園児へのお菓子のプレゼントが12月23日(木)に町内の3か所の保育園で行われ、その内、ふたば保育園ではサンタクロース姿に扮した部員3人が園児にお菓子を手渡しました。

参加した青年部員の星川優哉さんは、「子どもたちの笑顔を見ることができて良かった。コロナに負けずにまた来年も続けたいと思います。」と話していました。



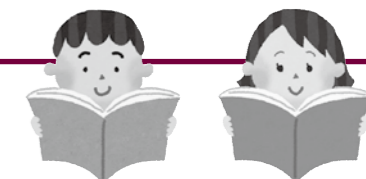
小学生が税金の大切さ学ぶ

税 金とお金の大切さについて学ぶ税金教室が、各小学校で開催されました。これは、子どもたちが普段あまり実感する機会のない税金について知ってもらおうと、町や税務署の職員が講師となって毎年行っているものです。このうち、大石田北小では12月15日(水)に開催され、児童は買い物をした際に支払う「消費税」など、身近な事柄を例に様々な税金やその使い道について学びました。税金の存在しない世界をテーマにしたアニメの視聴や、1億円のサンプルを持って重さを体感するコーナーもあり、参加した児童はお金や税金の大切さを再確認していました。



本の思い出を
記帳しよう!

町立図書館に 「本の通帳」を導入しました



町立図書館ではこの度、読書履歴を記録する「本の通帳」(読書通帳)を導入しました。これは、北郡信用組合(西村清理事長)とYCC情報システム(朝井正夫社長)からご協力をいただき実現したもので、県内で導入するのは4例目になります。

「本の通帳」とは、銀行の預金通帳とよく似た冊子で、借りた本の記録を印字して残せる図書館専用の通帳のこと。図書館に「読書通帳機」というATMのような専用端末が設置されていて、借りた本の情報はそこに転送されます。利用者がその端末に読書通帳を差し入れると、本のタイトルや貸出日が印字される仕組みです。大人から子どもまで町内在住の方はどなたでも無料で作成できます。

読書の履歴が貯金のように「たまっていく」ことで子どもの達成感にもつながる読書通帳。現在では、子どもの読書意欲を高める取り組みとして全国の図書館で導入が進んでいます。

読書には、知識や教養が得られるほかにも、脳の活性化やストレス解消など様々なメリットが存在します。この機会にぜひ町立図書館をご利用ください。



▲12月17日(金)に開催した「本の通帳贈呈式」
導入にあたりご協力いただきました北郡信用組合の西村清理事長、YCC情報システムの朝井正夫社長、また、町内各小学校の代表児童生徒に出席いただきました。本の通帳が贈呈されると、代表児童生徒が使い始めを行い、使い心地を確認しました。

■大石田町立図書館(虹のプラザ内) ☎35-3877